



7月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html>



「やってみよう」を引き出す教師の援助

園長 立石 晃子

小さい頃、「タチアオイの花がてっぺんまで咲いたら梅雨明け」と教わったことがあります。東京メトロ日比谷線南千住駅と鉄道弘済会義肢装具サポートセンターの間のところにタチアオイが咲いているのですが、現在は中間地点です。梅雨明けまではまだかかりそうです。

未来を担う子供たちには、将来予測が困難な状況においても、変化を前向きに捉え、課題解決を図る力を身に付けることが重要となります。この力を身に付けるために、育みたい性質・態度が「非認知能力」です。非認知能力とは、中央教育審議会 初等中等教育分科会 幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会 資料に、「主に意欲・意志・情動・社会性に関わる3つの要素（①自分の目標を目指して粘り強く取り組む、②そのためにやり方を調整し工夫する、③友達と同じ目標に向けて協力し合う。）からなる。特に幼児期（満4歳から5歳）に顕著な発達が見られ、学童期・思春期の発達を経て、大人に近づく。気質差、個人差が大きい。自己をコントロールすることが基礎にあるが、認知と非認知の両面を必要とする。教育を通して育成可能性がある。」と記述されています。また、ベネッセ教育総合研究所「ベネッセ教育情報」には、非認知能力の育ち方について、「子どもは、親や大人の関わりの中で、『自分は愛されている大切な存在なんだな』『人って信じていいものなんだな』と、自分と他者への信頼感が醸成されると、それを土台に非認知的な心の性質が積みあがる。」「子ども主体の遊びを通して育つものである。」と指摘されていると述べられています。

本園では昨年に引き続き『やってみよう』を引き出す教師の援助—小学校への滑らかな接続を目指して—を研究主題に掲げ取り組んでいます。6月21日（水）、年中たんぽぽ組で研究保育を行いました。巧技台や平均台などを使い、運動遊びに取り組む活動でした。教師の援助は、①ジャングル探検へ出発！と楽しい雰囲気をつくる、②ちょっと難しそうな設定をし、挑戦したい気持ちをもたせる、③できないかもという不安ややったらできた！という喜びに寄り添う、④自由に何度も繰り返し取り組める時間と空間をつくる、といった非認知能力の育ち方につながるものでした。担任は「先生！見て！」「先生、（手を）もって！」という子供たち一人一人に対応し、「やってみよう」を支えていました。子供たちは担任を頼りにし安心感を持ち、繰り返し、できた喜びを味わっていた姿が印象的な研究保育となりました。



また、今回の研究保育には、汐入小学校の先生方にも参観していただきました。小学校の先生方と連携を図り、幼児期に身に付けた力を小学校教育へつなげていきたいと考えます。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

<3歳もも組>

どろんこ遊び楽しい！お水大好き！また遊ぼうね

夏本番前の暑さに負けず、子供たちは戸外で元気に遊んでいます。園庭に出ると「先生、温泉作ろう！」と穴掘りをし「お水入れまーす」「もっと、いりますか？」等と会話を楽しみながら遊んでいます。全身で温泉に浸かり泥だらけになったり、シャワーの水を「雨が降ってきた！」と言って繰り返し浴びに来たり、感触や開放感を味わい、今しかできない遊びに夢中です。待ちに待ったプール遊びは、保育室でのプールごっこから期待感がいっぱい。プール開きの日では、セレモニーでの放水に大興奮。「きゃー」と嬉しそうな声が聞かれました。「冷たい」「気持ちいい」と全身で水の感触を楽しみました。

いよいよ夏休み目の7月は、七夕のつどいや夕涼み会など夏の行事が盛りだくさんです。「日本の夏」を体感して過ごせるように遊びや製作、行事へ取り組んでいきます。夏ならではの幼稚園での遊びや過ごし方を知り、教師や友達と一緒に楽しめるように過ごしていきます。

<4歳たんぽぽ組>

〇〇ごっこやろう！いろいろなごっこ遊びがいっぱいです。

子供たちは遊びを見つけるのが上手！「おうちごっこ」を楽しんできた今まで経験を活かして、最近では色々なごっこ遊びが盛んです！みんなが猫になりきって遊んでいる「猫ごっこ」や、「次は2階で一す！」とエレベーターごっこ、「名前を呼ばれたら並んでください！」などと幼稚園ごっこみたいな遊びや、お気に入りの絵本「どうぶつサーカス」からサーカスごっこ、ピクニックごっこでいろいろな道具をかごに入れて持ち歩き場所を変えながらのピクニックなど…時にはほぼ学級全員で集まっていることもあるくらい、ごっこ遊びを楽しんでいます。「こうしようよ！」「こっちのほうがいいんじゃない？」などと、自分の思いを友達に伝えたり、人の意見に「いいね！」言ったりするようになり、遊びが広がっています。

7月は、七夕や夕涼み会、水遊びにプール！この時期ならではの行事や遊びを思い切り楽しみつつ、友達とのつながりをつくり、深めていけるよう楽しんでいきます。

<5歳ばら組>

伝わるってうれしいね！つながりが深まり始めたばら組。

ばら組畑では野菜がぐんぐん生長中。パプリカは隣の畝で育てているピーマンの2倍ほどの大きさになっていますが、まだ緑のままです。「いつ色が変わるんだろう？」「何色のパプリカになるのかな」と観察を続けています。6月はJR 隅田川駅や千葉県立現代産業科学館の遠足に行きました。園に戻ってからは、貨物の「金太郎」を作ったり、みんなでいろいろな声を出し「クラドニ図形」作りを試したりと、現地での体験や発見を自分たちの遊びに生かしています。ごっこ遊びでは、思いが行き違ったりうまく伝わらなかったりすることまだまだありますが、どうしたらよいか考え、思いを言葉にして相手に伝えたり話を聞いたりし、イメージを共有したり場作りしたりして遊びを進めようとする姿が増え、つながりが深まってきているところです。

1学期もあとわずかです。夏ならではの行事や遊びを楽しみながら、学級のみinnで一緒に活動に取り組む充実感をたくさん味わえるよう援助していきます。